



島高だより
令和8年7月号
(通巻第244号)
長崎県立島原高等学校
編集：教育企画部

生徒会常任委員 任命式・交代式

第77期生徒会常任委員の任命式・交代式が行われました。新常任委員は1年生16名、2年生35名の計51名です。今後、様々な行事等で生徒会の代表として活躍してくれることを期待します。第76期の常任委員のみなさん、本当にお疲れさまでした。



野球部・合唱部・管弦楽部壮行式

全国大会を目指す野球部、合唱部、管弦楽部の県大会での健闘を祈り、壮行会を実施しました。



全国大会・世界大会壮行式

〔世界大会〕

○2026年U17世界レスリング選手権大会 65kg級 綿谷湊斗

〔全国大会〕

○令和8年度 全国高等学校総合体育大会

弓道男子〔個人〕	塩田岳						
弓道女子〔団体〕	山田伊織	福島千尋	松島花純	菊川結衣	神崎美希	田浦琉楓	
剣道男子〔団体〕	立川天翔	古野悠誠	三木己徹	寺川叶真	長尾悠真	荒木瑛	寄田勇飛
剣道男子〔個人〕	三木己徹						
剣道女子〔個人〕	大賀幸愛	北山愛華					
レスリング〔団体〕	濱崎康太郎	本多洸太	太田一希	吉岡音斗	中山一馬	林田龍之介	
	小淵晴史朗	金子颯汰					
	〔個人〕	55kg級・濱崎康太郎	92kg級・本多洸太				

○第50回 全国高等学校総合文化祭

放送部門 アナウンス部門 前田朱理

美術・工芸部門 絵画部門 牧本ほのか

○第73回 NHK杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門 前田朱理

世界大会に出場する綿谷湊斗君(3-2)



校長室から

「行動が語る『見えない力』」 校長 久保田幸成

雲仙・普賢岳の大火砕流から35年となった6月3日の16時8分、追悼のサイレンが市内で鳴り響きました。そのとき、自転車で下校していた本校の男子生徒が、そっと自転車を降り、その場で黙祷を捧げていたというお話を、外部の方からお電話いただきました。また、6月末には、本校の近くの路上で体調が悪くて座り込んでいた女性に気づき、声をかけ、安全な場所まで手を引いて案内してくれた生徒に感謝したいとのご連絡もいただきました。どちらの生徒も、誰かに言われたからではなく、自分で感じ取り、その場で考え、行動したものです。

私はこのような話に触れるたびに、「立派だな」「優しいな」と感じると同時に、そこには単なる人柄や性格にとどまらない、生徒の中に育まれてきた確かな「力」が働いているのではないかと考えさせられます。

近年教育界では、「見えない力」あるいは「非認知能力」と呼ばれる力が注目されています。思いやりや粘り強さ、主体性といった、数値では測れない力のことです。岡山大学の中山芳一(なかやま・よしかず)先生は、「見えない力は、思考や行動として表れたときに、その力の有無や程度が分かる」と述べています。

つまり、優しさや責任感といったものは目に見えなくても、どのような場面で、どのように行動したかという姿に表れる。今回の出来事は、そうした「見えない力」が発揮された姿であり、生徒一人ひとりの内面に育っている力が、自然な行動としてあらわれたものと言えるでしょう。

また一方で、中山先生は、見えない力を育てるためには、「どのような行動がその力にあたるのかを言葉にすること」が大切だとも指摘されています。

例えば、サイレンに合わせて自ら黙祷する行動は「命に思いを寄せる想像力」、気分が悪い人にそっと手を差し伸べることは「他者を気づかう行動力」と捉えることができます。

このように行動の意味を言葉にすることで、人は「自分はどのような力を発揮したのか」に気づき、それを次に生かしていくことができます。こうした力は、特別な場面で突然身に付くものではありません。日常の中で、「周りに目を向けること」「小さな気づきを大切にすること」「人との関わりを通して感じること」そうした経験の積み重ねの中で、少しずつ育まれていくのでしょう。家庭や地域での何気ない関わりも、その大切な土台になっているのだと思います。

今回ご紹介した生徒の姿からは、生徒たちの中にすでに多くの「見えない力」が育ち、それが場面に応じて発揮されていることを感じます。私たち大人にできることは、そうした姿に気づき「今の行動には、こういう力があったね」と言葉にして伝えていく(評価する)ことではないでしょうか。そうした積み重ねが、子どもたちの力を、より確かなものにしていこうと考えています。

なお、本校では、剣道部の生徒が自主的に朝7時から学校周辺の清掃活動を継続してくれています。こうした日々の積み重ねの中にも、「見えない力」は確かに育ち、発揮されています。これからも、生徒の成長を、みんなで温かく見守っていききたいですね。

校内競技大会

今年は前年度と異なり、球技大会から「競技大会」に名称を変更して実施しました。新たに実施した種目は、マリオカート、スマッシュブラザーズ、オセロ、タイピング等です。球技が盛り上がったのはもちろんのこと、新種目もかなり盛り上がっていました。熱中症対策も万全で、熱中症になった生徒はいませんでした。



1学期を終えて ～各学年より～



< 1 学年 >

入学から4か月。新しい環境に戸惑いながら始まった高校生活でしたが、今では自分たちで考え、行動する場面が少しずつ増えてきました。本学年が大切にしている言葉は「自立」と「協調」です。「自ら考え行動する力」、「互いに認め合い、高め合う力」を育むことを目標に、様々な取り組みを進めてきました。その中で、互いに励まし合ったり質問し合いながら学ぶ姿も多くみられるようになり、学年全体に前向きな学習の雰囲気が育ちつつあります。2学期も生徒たちの成長を学年全体で支えてまいります。

< 2 学年 >

2学年として新メンバーでスタートした各学級にも特色が出てきました。2学期には、体育祭・文化祭・海外修学旅行など多くの行事が控えています。各学級の特色を活かしながら行事の経験を通して成長し、中堅学年としての自覚の高まりを期待しています。さて、2学年では「夏ー！グランプリ」を開催します。無償でいただいたノート1冊を夏の自主学習で使い切る企画です。復習や弱点克服に活用してもらい、夏の成長を後押しします！

< 3 学年 >

6月から7月にかけて、ほとんどの生徒は高校生活の部活動の集大成を示してくれました。7月の三者面談を経て、いよいよ進路選択の具体的な取り組みが本格的になります。納得できる進路を選ぶために、汗を流す7、8月となってほしいと思います。

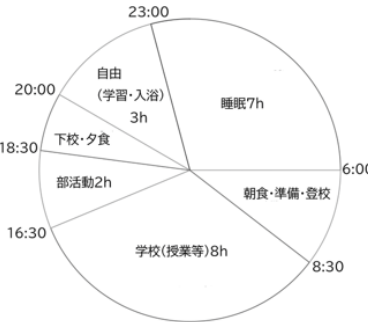
8月の主な行事予定

3日(月)	校内学習会 (3年・～4日)	20日(木)	理数科中四国九州大会 (沖縄・～21日)
5日(水)	全統マーク模試 (3年・～6日)	24日(月)	開始式 授業設定日(～31日)
9日(日)	平和登校日		1・2年校内実力テスト
10日(月)	学校閉庁日 (～14日)	25日(火)	体育祭結団式 体育祭練習
18日(火)	文理探究科2年 長崎県立大研修		(～9月5日)

休業期間の過ごし方

右図は授業日の高校生の生活の一例です。1日24時間のうち学校に10時間ほど使っています。自由に使える時間は3時間程度でしょうか。

さて、夏季休業中は、学校での生活に使っている10時間を自分で主体的に使うことができる期間です。「振り返った時、後悔をしない」「自分や周囲に胸を張れる生活」を送るためにも時間を有効活用してください。そのような「充実した夏休み」にするためのおすすめをいくつか紹介します。



(1) オープンキャンパスへの参加

右図は8月にオープンキャンパスが開催される大学の数です。多くの学校が企画しています。オープンキャンパスでは現地で見たいポイントがいくつかあります



① 学びの内容

ホームページや学校案内で学びの内容がわかります。それを学ぶ設備、環境をぜひ目の当たりにしてください。

② 雰囲気

在学生・職員が生き生きとしていると魅力的ですね。これらの雰囲気は見てもみないとわからないもの！

③ 就職・進路サポート

実績に加え、サポートを提供する施設や伝達方法なども現地で見えて自分が使いやすいか考えてください。

④ 設備

学内の学習スペースは？ 図書館は充実している？WiFiやPCは？ 食堂や売店は？ 実際に見てみて！

⑤ 周辺環境

学生アパートは？寮は？バス停は？鉄道は？自転車で生活するなら？スーパーは？生活環境も見えてほしい！

⑥ 在校生に質問

直接聞くのが一番、例えば「入学前と後にギャップは？」「授業、試験の大変さは？」「いいところ、わるいところ」「この学校で大学院まで行きたい？」など

(2) ボランティア活動・体験活動への参加

学校からはTeamsで案内しています。興味があることはもちろん、将来を見据えて視野を広げるためにも様々な体験活動を活用してください。

(3) 学習

授業日では自分で主体的に行う学習の時間も限られています。夏休みなら1日10時間以上はできますよ。

(4) 社会情報の収集

普段会わない親族や大人に会う機会、仕事の事や進路選択のことを聞ける機会です。

もちろん、生活リズムは崩さないでください。学習も頑張ってください。充実した夏季休業を送ることを期待しています。